No.131

2012 1

学院だより

東京家政学院大学学友会主催
ドッジボール大会優勝チーム

筑波学院大学 KVA 祭の様子

東京家政学院大学千代田三番町校舎
子供のための音楽教室開設の地記念碑

中高文化祭でのステージ

目　次

○　学校法人東京家政学院…… 1～2P
○　東京家政学院大学・大学院…… 3～5P
○　平成 24 年度入試日程 …… 6P
○　筑波学院大学…… 7～8P
○　東京家政学院中学・高等学校…… 9～10P
○　社会のなかで、研究室紹介…… 11P

発行　学校法人　東京家政学院
〒 102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

東京家政学院大学　千代田三番町校舎

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22 番地
（代表電話番号）03-3262-2251
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

年頭所感

ＫＶＡルネサンスの基礎を固めよう

学校法人東京家政学院理事長
山　口　　孝

新年おめでとうございます。

本学院では、昨年度、千代田三番町校舎のリニューアルが完成し、４月から、現代家政学科と健康栄養学科がここに移転し、東京家政学院大学は２キャンパス制となりました。新しく１号館に「大江スミ記念三番町図書館」、ローズホールにカフェテラスが開設され、ＫＶＡ会館も新装され、学院のコアとしての役割を果たしております。これに加え東京家政学院創立 90 周年記念としてご寄付いただいた募金により町田キャンパスではコンビニ・喫茶コーナーの整備、三番町キャンパスではキャリアサポートセンター・トイレの整備（中・高校）、植栽などによる環境美化、筑波学院大学ではパソコン演習室の整備等に充て、全体として学院施設の充実をはかることができました。

平成 24 年度は経営改善５カ年計画の３年目にあたり、全学をあげて計画達成に取り組んでおります。東京家政学院大学では受験生が増加、昨年に続いて定員充足が見込まれています。筑波学院大学、中学・高校でも昨年を上回る入学生を迎え入れるべく全力を尽くしており、財政的には資金収支において均衡する予算を編成することとしております。少子化という厳しい状況がありますが、このような新しい展望のもとに新年を迎えることができましたのは、建学の精神を生かした新鮮なビジョンのもとで同窓会、教職員が一体となって、ＫＶＡルネサンスに努力していただいた成果であります。

しかし、東日本大震災と原発災害および国際金融の動揺などから、日本経済の不安定性が増しております。こうした中で、私たちの学院に、さまざまな夢と希望をもった生徒、学生が入学されております。教職員はこの期待に応えるべく力を尽くし、心をくだき教育・研究にご努力いただきますことをお願いし、同窓の皆様には学院の維持発展のため、いっそうのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

名誉教授に二氏ご就任

平成 23 年 10 月 20 日（木）に開催された、東京家政学院大学教授会において、２名の先生が名誉教授に選任されました。先生方が残されました類い稀なる教育研究業績に対し、深く敬意を表する次第です。

≪東京家政学院大学≫
○中村　アツコ（前現代生活学部教授）
○細渕　昌美（前現代生活学部教授）

敬称略

「東京家政学院創立90 周年記念募金」　報告

平成 25 年（2013 年）に創立 90 周年を迎えるのを記念し、平成 22 年７月から開始いたしました「東京家政学院創立 90 周年記念募金」の合計金額は、

46,298,084 円になりました。（平成 23 年 12 月 20 日現在）

＜募金はこのような事業に使われています。＞

KVA ショップ（コンビニ）設置
（町田キャンパス）

食堂･喫茶コーナー整備（町田キャンパス）

植栽プランター設置
（千代田三番町キャンパス）

「子供のための音楽教室」の記念碑設置
（千代田三番町キャンパス）

ローズホールのペンダント照明
（千代田三番町キャンパス）

キャリアサポートセンター設置
（中・高等学校）

KVA 会館の改修
（千代田三番町キャンパス）

トイレ改修　（中・高等学校）

パソコン機器更新（筑波キャンパス）

＜お知らせ＞
平成 23 年１月１日から寄附の「税額控除制度」が導入されました。
今後とも創立 90 周年記念募金に、ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

＜お問合せ先＞
学校法人　東京家政学院
募金事務局　TEL：０３－３２６２－２２４２
E-mail ： bokin@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院大学
TOKYO KASEI-GAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）
千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

地域連携センター活動紹介

本学では、地域貢献を大学の第三の使命と捉え、積極的に地域の企業や自治体等との連携を推進してきました。これまでは、こうした連携には個別に対応してきましたが、案件が増え、内容が多様化するに伴い、効率的かつより価値の高い連携を進めるためには地域連携を専管で担う部署が必要との判断から、今年４月、町田キャンパスに地域連携センター（小口悦子センター長）を設置し、また、「東京家政学院大学　地域連携ポリシー」を制定し、地域連携の目的を明確化しました。

今年度はこれまでに、相模原市城山地区特産の鮎の一夜干しを用いたメニュー開発や、アパレルメーカーとの共同による学校用体操着に関する調査研究、新たな福祉ビジネスを検討するための研究会の運営など、地域のニーズに根差した連携を進めるとともに、学生に実践的な教育機会を提供しています。また、近隣の神奈川県立相原高等学校との連携に基づく高校生との共同プロジェクトや地元商業施設でのイベント実施など新たな形の連携もスタートしています。

地域連携センターの発足により、これまで以上に地域に貢献できる大学を目指します。同センターの活動にご期待ください。

鮎の一夜干しメニュー開発の成果発表会

本学で分析実験を行なう相原高校の生徒たち

海外研修（イギリス・ロンドンでの異文化研修）

２０１１年９月５日（月）から12日（月）まで「総合演習３海外研修（異文化理解）」としてイギリス・ロンドンにて研修を実施いたしました。８月６日（土）にロンドン北部で暴動が起きたため、大学としても十分な情報収集をした上で、安全を第一に研修を行いました。

酷暑の日本を離れ、イギリスに着いてみると11月初旬の気温。連日雨模様で初日からイギリスの天候を堪能できた研修でした。一週間という短い期間でしたが研修の内容は非常に濃く、学生の皆さんはいろいろな側面からイギリスという国を知ることができたと思います。ガイドの説明に熱心に聞き入り、メモを取ったり写真を撮ったりと忙しく、充実した様子でした。毎日が異文化体験であり驚いたことも多々あったようですが、全てが良い勉強です。この経験を今後の糧に多方面に活かして頂ければと願ってやみません。

アン・ハサウェイ（シェイクスピアの妻）の生家にて（ストラットフォード・アポン・エイボン）

自転車は車道左端を走行

警察庁は、昨年の 10 月以降、自転車の車道走行を徹底指導することを決めました。自転車は歩道ではなく、車道の左端を一列に走行しなければなりません。万一事故を起こした時は、第 1 に被害者を救護することを忘れないでください。　（学生支援グループ）

奨学金授与について

町田キャンパスでは、次のとおり学業優秀な学生を表彰し奨学金を授与しました。

学校法人東京家政学院奨学金　６名
光塩会奨学金　６名
学校法人東京家政学院創立 80 周年記念光塩会奨学金　16 名

地域連携取り組みが商品化

相模原市藤野町の山間部の南斜面では、古くからゆずの栽培がおこなわれ、藤野町の特産品の一つとされています。一部は、ポン酢、ワイン、ジャム、ゆず胡椒として商品化されていますが、果汁搾汁後の果皮や種は、生産量に見合う有効な利用法がないため、一部は、廃棄されている状況でした。２００９年相模原市と藤野町商工会の依頼を受け、「ゆずプロジェクト」として「藤野産ゆずの果汁搾汁後の果皮と種の有効な利用法の検討」の取り組みを行いました。調理学研究室（小口）の卒業研究のテーマとして五十嵐さん、池田さんが、果皮や種を利用したレシピ考案を行い、ゆずの成分分析を栄養学研究室（海野）が担当し、1年間様々なレシピ提案を行いました。その中で、皮を使った佃煮が、「ふじの煮」（写真）として２０１１年７月に藤野町商工会より商品化されました。ゆずとかつお節、ごまの相性がよい、香り豊かな一品となりました。

藤野産ゆずを使った佃煮「ふじの煮」
パッケージには本学の名前があります

アリオ橋本との連携イベントの報告

８月26日（金）に相模原市橋本駅前のアリオ橋本店で、生活デザイン学科・児童学科の教員による「親子で楽しむものつくり・体験教室」が開催されました。会場には１００〇名程の方が参加され、一方、生活デザイン学科の1、2年生中心の学生73名が各教室をサポート。学生スタッフからの「大変だったけどすごく満足」、「こんなの初めて、来年も絶対やってください！」という子ども達からの言葉を次回への励みとして無事終了。大型商業施設を舞台とした、教職員・学生一体の地域密着型イベントのスタートとなりました。

真剣な眼差しで
「小さいふくろをつくろう」

家庭科教員向けの講座開催

生活デザイン学科主催第1回家庭科教員向け「実習力アップの味付け講座とパソコン講座」計４回が、夏休みのオープンキャンパスで参加者に配られました。

節電対策用うちわの制作

住居学科３年の安納優衣さん、牛木彩夏さん、田中萌実さん、陳伊さんの４名が校章のバラをモチーフにデザインした節電対策用うちわができあがり、オープンキャンパスで参加者に配られました。

節電対策用うちわ

七国防災イベントに参加

10月15日（土）、16日（日）に、八王子みなみ野の町会防災イベントに参加しました。今年で3度目の参加。アルファ化米を使った炊き込みご飯３５０食分を調理し、地元の方々に振舞いました。

だし汁をアルファ化米に入れ、
「炊き込みご飯」の完成！

第 48 回ＫＶＡ祭 Be everyone smile ～家政からのおくりもの～

去る 11 月 12 日・13 日に第 48 回ＫＶＡ祭が町田キャンパスにて開催されました。今年は本学から被災地へ笑顔を贈ろう！という想いが込められたタイトルどおり沢山の笑顔に溢れました。企画はお笑いライブや芸人の司会によるビンゴ大会の他、ファッションショーや学科の特色を生かしたユニークな展示・イベントなど新しいものが目立ち、例年以上に盛り上がりました。なお、この成功は、授業の合間を縫い準備に励んだ実行委員達の努力の賜物でもあります。

大人気ビンゴ大会

平成 24 年度入試日程　東京家政学院大学・大学院

※詳細は HP、入試要項等をご確認下さい。

1．一般入試

区　分	大　学　院	東京家政学院大学・現代生活学部
	人間生活学研究科	現代家政学科 健康栄養学科（C 日程を除く） 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（4月入学・後期） 平成 24 年 1 月 27 日（金）～2 月 3 日（金） （9月入学） 平成 24 年 7 月 2 日（月）～7 月 9 日（月）	（S 日程）平成 24 年 1 月 5 日（木）～1 月 13 日（金） （A 日程）郵送受付：平成 24 年 1 月 5 日（木）～ 1 月 19 日（木） 窓口受付：平成 24 年 1 月 20 日（金） （B 日程）郵送受付：平成 24 年 1 月 23 日（月）～ 2 月 8 日（水） 窓口受付：平成 24 年 2 月 9 日（木） （C 日程）郵送受付：平成 24 年 2 月 23 日（木）～ 3 月 5 日（月） 窓口受付：平成 24 年 3 月 6 日（火）
試験日	（4月入学・後期） 平成 24 年 2 月 13 日（月） （9月入学） 平成 24 年 7 月 18 日（水）	（S 日程）平成 24 年 1 月 21 日（土） （A 日程）平成 24 年 2 月 1 日（水）、3 日（金）のいずれか 1 日または両日 （B 日程）平成 24 年 2 月 16 日（木） （C 日程）平成 24 年 3 月 14 日（水）
試験場	町田キャンパス	（S 日程）千代田三番町キャンパス・町田キャンパス・仙台・新潟・宇都宮・甲府・長野・静岡 （A・B 日程）千代田三番町キャンパス・町田キャンパス（志願者選択） （C 日程）現代家政学科：千代田三番町キャンパス 生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科：町田キャンパス
合格発表	（4月入学・後期） 平成 24 年 2 月 18 日（土） （9月入学） 平成 24 年 7 月 24 日（火）	（S 日程）平成 24 年 1 月 25 日（水） （A 日程）平成 24 年 2 月 4 日（土） （B 日程）平成 24 年 2 月 17 日（金） （C 日程）平成 24 年 3 月 15 日（木）

2．センター試験利用入試

区　分	東京家政学院大学・現代生活学部
	現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（A 日程）郵送受付：平成 24 年 1 月 16 日（月）～ 2 月 3 日（金） 窓口受付：平成 24 年 2 月 6 日（月） （B 日程）郵送受付：平成 24 年 1 月 30 日（月）～ 2 月 10 日（金） 窓口受付：平成 24 年 2 月 13 日（月） （C 日程）郵送受付：平成 24 年 3 月 8 日（木）～ 3 月 19 日（月） 窓口受付：平成 24 年 3 月 21 日（水）
試験日（センター試験）	平成 24 年 1 月 14 日（土）、15 日（日）
合格発表	（A 日程）平成 24 年 2 月 9 日（木） （B 日程）平成 24 年 2 月 17 日（金） （C 日程）平成 24 年 3 月 23 日（金）

※入試窓口受付は町田キャンパス入試広報グループに限ります。

○お問い合わせ先
東京家政学院大学・大学院
〒 194-0292
東京都町田市相原町 2600 番地
入試広報グループ
TEL　042-782-9411

3．募集人員

入試方法 ＼ 区　分		大学院	東京家政学院大学・現代生活学部				
		人間生活学研究科 生活文化専攻	現代家政学科	健康栄養学科	生活デザイン学科	児童学科	人間福祉学科
一般入試	S 日程	4 月入学生（前期・後期）・9 月入学生、合わせて 10 名	10	10	10	6	5
	A 日程		20	25	20	15	15
	B 日程		3	8	5	3	5
	C 日程		2	—	2	2	2
センター試験利用入試	A 日程		5	9	5	3	5
	B 日程		3	4	3	1	2
	C 日程		2	1	2	1	2
計		10	45	57	47	31	36

平成 24 年度入試日程　筑波学院大学

○経営情報学部

入試日程

入試区分			募集人員	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表
一般入試	A 日程		30	1 月 16 日（月）～ 2 月 2 日（木）	2 月 11 日（土・祝）	2 月 15 日（水）
	B 日程		15	2 月 13 日（月）～ 2 月 22 日（水）	3 月 3 日（土）	3 月 8 日（木）
センター利用入試	A 日程		10	1 月 30 日（月）～ 2 月 9 日（木）	大学入試センター試験 1 月 14 日（土） 1 月 15 日（日）	2 月 20 日（月）
	B 日程		5	3 月 5 日（月）～ 3 月 13 日（火）		3 月 22 日（木）
AO 入試	予備面談型	4 期	AO 入試全体で 60 名	3 月 1 日（木）～ 3 月 12 日（月）	3 月 18 日（日）	3 月 22 日（木）

○お問い合わせ先
筑波学院大学
〒 305-0031
茨城県つくば市吾妻 3-1
入試・広報課
TEL　029-858-4815

ＯＧを招いて就職相談会開催

この相談会は、ＯＧ20名と4年生内定者をゲストに迎え、自身の就職体験談や職業観などを語っていただき、後輩たちの悩みに親身に応対していただく場となりました。進路に不安を抱えて参加した約１２０名は、先輩と膝を交えて相談できる機会とあって、積極的に教えを乞う姿勢が見受けられました。終了後のアンケート調査でも、さまざまな業界の様子が分かり、大変有意義だったという意見が多く寄せられました。昨今の大学生を取り巻く厳しい就職環境の中、参加した学生にとっては大いに励まされる1日となったようです。

なお、本企画は、平成21年度文部科学省の学生支援推進プログラムに採択された本学の「ネット就職支援システム」推進の一環として行われ（11月5日、町田キャンパスにて）、今回が3年目となります。

相談会の光景

韓南大学校と協定をコンケン大学とＭＯＵを締結

9月21日に韓南大学校（韓国・大田広域市）の金炯泰総長等3名が本学を訪れ、両大学間の協定締結式が執り行われました。今後は、録は、本学の被服整理学研究室が指導した過去20年間の染色分野の卒業研究作品きもの91点と、授業作品 友禅染めの帯52点を収録して図書館が出版しました。作品には伝統工芸の染色技法にかける学生の4年間の成長と情熱と努力が凝縮されています。本学は学生ひとり一人に向き合い、それぞれの隠れた個性や能力を引き出し、育てる「卒業成長値」を高める教育を大事にしています。本学の教育の一端を多くの方々にご覧いただきたいです。（図書館）

協定締結後に韓南大学校の関係者と

日本橋美人博覧会協賛イベント実施

10月21日～11月5日まで日本橋美人博覧会に協賛し、千代田三番町キャンパスで展示と講演会を開催。5台のショーケースに江戸時代の錦絵や染めの資料、更紗・髪飾り・再現料理標本・木地玩具等を展示しました。60名以上の本学関係者を含め、２７０名が見学されました。29日の講演会では、午前が江原名誉教授の「江戸の食と再現料理」、お昼に「江戸エコ行楽重」のお弁当を楽しみ、午後は藤居教授の「染め今昔・天然染料の色合い」と、大変好評でした。

展示

お弁当

学生作品　図録天然染料で染めるきもの

『世界で「オンリーワン」の作品展へ、ようこそ』天野学長の序題ではじまるこの図

図録　深紅の表紙

学友会主催ドッジボール大会開催

10月15日（土）学友会が主催するドッジボール大会が、千代田三番町キャンパスアリーナで開催されました。学科移転後初めての大会であり、開催に向け不安いっぱいでしたが、優勝賞品「TDL パスポート」に誘われたのか、参加チーム数は 13 団体と予想を大きく上回りました。熱戦が繰り広げられるなか、昨年準優勝の２年生チーム「ゆりーぱみゅぱみゅ」が、見事前年の雪辱を果たし、栄冠を射止めました。

その他上位入賞チームは以下のとおりです。準優勝「チームバレー部（が大半を占めている）」（１年生）、ベスト４「カントリーマーム」（１年生）、「チーム B」（３年生）

学友会スタッフ

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

留学生日本文化研修（11／12）

毎年恒例の留学生日本文化研修旅行が、11月12日（土）に行われ、留学生・国際別科生・日本人学生・教職員の17名が穏やかな小春日和の日に茨城県南の3箇所を訪れました。

国の重要文化財である水海道風土博物館坂野家住宅は壮大な豪農屋敷で、案内の方が、数々の部屋が実際に何に使われたかを丁寧に説明して下さり、留学生には格好の日本文化、歴史との接触になったと思います。

常総市の佐古染色工芸館では、ハンカチやマフラーの藍染絞りを体験しました。絞り方の違いでどれ一つ同じ模様がないオリジナルの藍染作品ができ、全員、大満足の藍染経験でした。

日本食レストランでの昼食後は、守谷市のアサヒビール工場の見学をしました。大スクリーンでの映像と説明の後、大きな工場をガイド付きで見学し、留学生からも活発な質問がありました。最後にジュースやビールの試飲もあり、日本の新旧文化を体験した研修旅行は無事に終了しました。

藍染絞り体験の様子

企業ニーズに応える社会人育成プロジェクトフォーラム

去る10月1日の土曜日、文部科学省の大学教育・学生支援推進事業に採択された「企業ニーズに応える社会人育成プロジェクト」の総括フォーラムが開催されました。エジプト考古学者として著名な吉村作治・早稲田大学名誉教授を迎えて、「試練を乗り越えて夢を実現する―私のキャリアデザイン」と題する基調講演があり、ご自身が考古学の道に進んだ経緯を例に挙げながら、約1時間にわたって将来の進路を決める重要なポイントを熱く語りました。中でも強調されたのは、「見えるキャリア」と「見えないキャリア」を早く決めること、失敗を恐れずむしろ自慢すること、「愛、意思、運、縁、恩」を大切にすることの3点でした。母上の影響を様々に受けたことや発掘調査中の興味深いエピソード、さらにはもともと噺家になりたかった、という意外な告白（?）もあり、講演は大盛況のうちに幕を閉じました。

引き続き、「社会に出るにあたって必要なキャリアとは―激変する就職環境への対応」と題するパネル・ディスカッションが開かれ、本学教員と外部パネラーが活発な意見交換を行いました。

講演中の吉村作治氏

第 21 回 KVA 祭

平成 23 年 10 月 22・23 日に第 21 回 KVA 祭が開催されました。「新しい一歩、挑戦する一手～ Turn over a new leaf~」と言うテーマを掲げ、来場者 2500 人以上を集めました。テレビアニメ NARUTO の主演声優として有名な「竹内順子さんのトークショー」もほぼ満席となり、恒例となった KVA 実行委員会主催の「第 6 回 KVA 杯ドッジボール大会」、学友会主催の「つくば仮装コレクション２０１１」も盛況でした。ジャグリングやベリーダンスなど多様なパフォーマンスも披露され、イベント・展示・模擬店などの内容も充実し、賑やかな 2 日間でした。

第3回デザインコンテスト開催

今年で3回目となる筑波学院大学デザインコンテストが開催されました。企画、運営は本学3年生が担当し、ポスターおよびブログデザインを行いました。

コンテストでは「童話の世界」をテーマに紙製ブックカバーデザインを募集したところ、茨城県内はもちろん、東京都、福岡県、和歌山県、そして被災地である福島県いわき市など、全国から多数の応募がありました。パソコンを用いた作品の他に、手描きによる作品も多く、童話や物語を表現した幻想的なものや、可愛らしい作品が目立ちました。

学内選考を経て入賞した作品は、ＫＶＡ祭にて展示し、来場者からの７００票近い投票によって、グランプリ、準グランプリ、ＫＶＡ賞が決定しました。上位賞の方には、デザインマーカーなどの賞品と賞状が贈られました。

また今年から学内のデザイン制作の意識を高めるため、在学生部門も設けました。グラフィック系ソフト技術を用いた作品が多く、日頃の授業の成果が現れました。

高校生と在学生によるたくさんの作品が、会場を華やかに飾り、来場者のみなさんにも好評でした。

今後もこうした活動を通じて、本学のデザイン教育を発信していきたいと考えています。

第３回デザインコンテスト開催

第10回保護者会で学食体験も!!

10月1日（土）第10回保護者会を開催しました。午前中に全体会と希望者の方の個人面談を行いました。全体会では学長からの講話及び、学生部長から学生生活について、また履修申請の状況や東日本大震災に伴う奨学金の貸与、給付についてなどの報告がされました。今回は普段学生が利用している学食での試食会も実施し、学生の大学生活の一部を体験して頂きました。体験した保護者の方からは安価で美味しいとの感想を頂きました。

午後は、例年実施している就職関係の報告と講演の代わりに文部科学省の大学教育・学生支援推進事業として採択された3年間の総括として「企業ニーズに応える社会人育成プロジェクト・フォーラム」に参加していただきました。

平成23年度夏期就活ガイダンス

9月14日（水）～16日（金）の3日間で、平成25年3月卒業予定者を対象とした夏期就活ガイダンスが行われました。講師に、キャリアコンサルタントの藤枝玲子氏、キャリアカウンセラーの小松崎浩司氏を招き、1日目は主に就職活動の進め方、自己分析、エントリーシート履歴書対策、2日目は面接対策、採用試験対策、メークアップ講座、3日目はディベート・グループディスカッション対策、グループワーク対策など実践を交えての就職全般に関する講義となりました。

まずは、大きな声であいさつすることから初め、「人はどうして働くのか」という基本的な意識確認から、だんだん内容を深め、履歴書の書き方やグループに分かれての個人面接や集団面接を行いました。人事担当者と学生の立場を交互に体験し、それぞれの立場で助言し、真剣な表情で取り組んでいました。

参加した学生からは、「エントリーシートと履歴書のベースが作ることができ有意義だった」、「面接の練習で自分の欠点を知ることができた」などという感想が多く聞かれ、12月からの本格的な就職活動のスタートに役立つものとなりました。

集団面接の練習

オープンキャンパス日程

開催日	時　間
2 月 26 日（日）	受付 10：00 ～ スタート 10：30　終了予定 13：00
3 月 25 日（日）	受付 10：00 ～ スタート 10：30　終了予定 13：00

〈自己ピーアールの練習〉
お互いに注意しあい、自分の長所・欠点などを見つけながら進めました。

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

文化祭のポスター

２号館プランター

文化祭正門の飾り付け

第47回常磐祭 文化祭（中高生徒会より）

ごきげんよう。今年の文化祭は例年より早まって、十月一・二日に行われました。今年のテーマは「凛娘（りんご）」でした。前日まで心配していた天気にも恵まれ、テーマ通り生徒一人一人が凛として輝けるような文化祭となりました。また、ステージイベントでは新たに新企画も取り入れ、とても盛り上がっていました！そして、今年から新しくなったローズホールでは舞台系発表が行われ、各団体が文化祭まで努力してきた成果が存分に出ていたと思います。

文化祭実行委員は半年前から門・ステージ作りやパンフレットの作成などを行ってきました。大変なこともありましたが、たくさんのお客様にご来場いただいて、大盛況で終わることができました！本当にありがとうございました。来年もまた、今年以上のものとなるように努めてまいりたいと思います。

入試広報係だより

ごきげんよう。中高入試広報係では、今年度も説明会など広報活動を活発に行っています。

十月二十九日に行われた高校入試説明会についてご報告致します。

当日は、三十六組の方にご参加いただきました。説明会の全体を第一部と第二部に分け、第一部では、吹奏楽部による発表や高校二年生による学校紹介などを行いました。吹奏楽部の演奏は、普段の練習の成果が発揮され、聞いている皆さんに元気を与えるような演奏でした。高校二年生は、今年度の文化祭と体育祭、また生徒会活動など、学校行事を中心とした紹介をしました。発表担当の生徒はたくさんの受験生を前に緊張している様子でしたが、温かい拍手をいただきとても嬉しそうでした。また、体育系クラブの紹介も兼ねた挨拶もあり、最後まで笑顔が絶えませんでした。

第二部では、募集要項や入学後のカリキュラムや進路指導についての説明を行いました。

この説明会は、初めてローズホールを会場としました。明るく広々とした空間で、ご参加いただいた受験生と保護者の皆さんには生徒の生き生きとした姿を見ていただき、盛況な会となりました。

一月にも中学校入試説明会を行います。たくさんの方のご来校をお待ちしています。

中学・高校共通イベント

合　唱　祭	2012 年 1 月 19 日（木）	14:00 ～ 16:00	練馬文化センター

（受験生・保護者 / 予約不要）

２０１２年度　東京家政学院　中学校募集要項（抜粋）

試　験　日	2月1日（水）		2月2日(木)	2月5日(日)	2月9日(木)
	午前	午後	午後	午前	午前
募集人員	４０名	A入試：2科 40名 B入試：適性検査 10名	20 名	15 名	5 名
集合時間	8:30	15:00	15:00	8:30	8:30
終了時間	2科　10:30 4科　11:30	A・B入試とも 17:00	2科　17:00	2科　10:30 4科　11:30	2科　10:30 4科　11:30
試験科目	午前入試　2科（国語・算数）、4科（国語・算数・理科・社会）選択				
	午後入試　2科（国語・算数）				
時間・配点	2科：国語・算数　（各４５分、各１００点）				
	4科：国語・算数　（各４５分、各１００点） 社会・理科　（計５０分、各５０点）				
適性検査	《１日午後Ｂ入試》Ⅰ国語的分野：作文（４５分） Ⅱ理科的、社会的分野：総合問題（４５分）				
出願受付	窓口：１月２０日（金）～入試当日［日曜を除く］　９：００～１６：００				
	郵送：１月２０日（金）～１月２６日（木）　消印有効				
検定料	２０,０００円（複数受験可）				
特待生制度	全ての入試において特待生を選抜します。 得点率８０％以上・・・入学金および授業料　全額免除 得点率７５％以上・・・入学金および授業料　半額免除 得点率７０％以上・・・入学金　免除				
特別進学コース選抜	全ての入試において特別進学コースを選抜します。 得点率６５％以上を基準とします。				
チャレンジ入試	既合格者を対象に、特待生・特別進学コースの再受験ができます。 （１日午後・２日・５日）				
合格発表	〈午前入試〉　◇掲示・・・入試当日　１４：００～１５：００ ◇ＨＰ・・・入試当日　１４：００～２０：００				
	〈午後入試〉　◇掲示・・・入試当日　１０：００～１１：００ ◇ＨＰ・・・入試当日　２１：００～翌日　９：００				
入学手続	入試当日～２月１０日（金）《日曜を除く》　９：００～１６：００				
入学金	２５０,０００円				

２０１２年度入試 説明会日程（中学校）

入試直前対策	1 月 14 日（土）　10：00 ～／ 14：00 ～
キャンパスツアー	1 月 28 日（土）　11：00 ～
12 月 1 日（木）～ 1 月 28 日（土）まで	入試直前個別相談期間

○予約は、ホームページまたはファクシミリでお受けしております。
○各行事は事情により変更される場合があります。 本校 HP でご確認下さい。

２０１２年度　東京家政学院　高等学校募集要項（抜粋）

１．推薦入試

推薦入試を希望される方は、事前相談が必要です。詳細は、募集要項をご覧下さい。

推薦方式	①単願推薦　②併願推薦　③自己推薦
募集人員	４０名
出願期間	１月１８日（水）・ １月１９日（木）
試験日	１月２２日（日）
合格発表	当日発表
入学手続	①単願推薦・③自己推薦　１月２２日（日）～２３日（月）
	②併願推薦　１月２２日（日）～公立高校前期発表翌日

２．一般入試（併願優遇希望者も含む）

併願優遇を希望される方は、事前相談が必要です。詳細は、募集要項をご覧下さい。

募集人員	４０名
出願期間	１月２５日（水）～ ２月７日（火）
試験日	２月１０日（金）
合格発表	当日発表
入学手続	２月１０日（金）～ 公立高校前期発表翌日

２０１２年度　募集要項のポイント

１．試験日	２/２午前は実施しません。
２．募集人員	合格ラインは得点率５５％です。 （2011 年度入試　各回平均） 定員にこだわらず合格者を出します。
３．集合時間	午後入試は余裕を持って受験できます。
４．終了時間	筆記試験で終了です。面接は行いません。
５．試験科目	４科受験生は２００点満点に換算して選考します。 科目ごとの基準点は設定せず、合計点で選考します。
６．時間・配点	基礎問題を中心に出題します。 難問、奇問はありません。
７．適性検査	公立中高一貫校と同じ形式で出題します。 作文のテーマは事前に伝えます。
８．出願受付	当日出願は集合時間まで可能です。
９．検定料	１回の受験料で複数回受験できます。
10．特待生制度	授業料免除は１ヵ年が対象です。 次年度への継続は審査の上、決定します。
11．特別進学コース選抜	得点率が基準を超えた合格者は全て特別進学コース合格となります。 入学手続の際に総合進学コースへ変更することも可能です。
12．チャレンジ入試	複数回受験が可能です。 2/9 入試では実施しません。
13．合格発表	すべて当日に行います。 合格通知を本校入試窓口にてお受け取りください。
14．入学手続	合格通知を必ずお持ちください。 必要書類をお渡しします。
15．入学金	返還、延納は実施しておりません。

ご不明な点はお問い合わせ下さい。

東京家政学院 中学校・高等学校　入試事務室
電　話　０３－３２６２－２５５９（入試専用ダイヤル）
ＦＡＸ　０３－３２６２－２２２３
ホームページ　http:// ｗｗｗ .kasei-gakuin.ac.jp/chuko/

≪中学入試≫ 3つのポイント

point 1　午後入試は２科目（国語・算数）

point 2　適正検査入試（2/１午後）を実施

point 3　特進コース選抜基準は得点率 65%以上
チャレンジの気持ちを形にしよう！

学校説明会にて

大江スミ奨学金について

今年度から、中学校２・３年生及び高等学校２・３年生に対しても授業料の減免が受けられる制度ができました。

この制度が受けられる生徒は、前年度に優秀な成績を修め、良好な生活態度で、高校卒業時まで、本学院の生徒として学業を続ける意志のある者とします。

社会のなかで

日本の「食」「マナー」という文化を伝えて

東京家政学院大学家政学部　家政学科卒業　小林浩子

10年間過ごした母校を卒業し、早15年以上が過ぎようとしています。現在はフリーランスで都内を中心に料理とマナーの講師として活動し、自宅では外国人向けの和食教室を主宰しています。

30代、夫の仕事でロンドン・バンコクと在外生活を送る機会があり、それまで当たり前と考えていた、日本の「マナー」や「料理」に対する、世界の高い評価や発信力を再認識することとなりました。赴任前から仕事としていた料理を通しては在外先で多くの方々と交流をもつ機会ができ、タイでは日本とタイの料理勉強会をしていた友人と、タイで初めてとなる本格日本の家庭料理本「ITADAKIMASU」を出版する機会に恵まれました。日本社会での家庭料理は、日常生活の家事の一部としてのみ受け止められがちですが、その中には日本の風土や歴史を通じて誕生した文化や食材を活かす知恵が詰まっていて、海外での評価・興味は驚くものです。

「マナー」を習得し日頃から実践することは、どのような場でもコミュニケーションを円滑に行うことを可能にし、また、日頃食べ作っている「料理（和食）」を季節や歴史を含め体系的に学ぶことは、大変有益な文化交流のコミュニケーションツールとなります。日本に戻り、マナーや料理講座の講師として1年余りですが、お子さんから高校・大学生、独身者・主婦またリタイアした男性と幅広い層の生徒さんに対し、料理やマナーの意味なども含め、楽しく学んで頂きながら、私自身、自らが学んだことを伝え・発信することの楽しさや素晴らしさを実感しています。また、これらの活動が、国際化が進む日本社会のコミュニケーション力と発信力を高めることに微力ながら繋がればと考えています。

味の素社「ビギナーズクッキングスクール」での風景

プロフィール

小林　浩子
東京家政学院大学家政学部
家政学科　（平成6年度卒業）
料理・マナー講師　料理研究家
四谷にて料理教室　主宰

研究室紹介42

筑波学院大学

経営情報学科　大島ゼミ

（教授　大島慎子）

観光ビジネスの研究室で、観光を産業面、経済面の視点から研究しています。観光学は学際的な分野であり、学生に親しみやすいように、理論に偏るよりも実務的な勉強を多くしており、「観光を通じて社会のしくみを知る」ことを目標としています。

日本は製造業の輸出で経済大国になり観光は文化とみなしてきましたが、欧米やアジア諸国では観光を産業として育成してきました。そして小泉政権以来、日本も観光立国として外国人旅行者誘致の政策を展開しています。

ゼミでは、「観光は、人間が余暇時間に知的欲求や休養のために移動して訪問地で財を消費する」という定義に基づき、移動手段の交通全般、宿泊手段であるホテル等、観光資源である自然、文化遺産、それらを商品化する旅行会社など多岐にわたる研究をします。大島ゼミに参加する学生は、専門科目で、空港見学やホテル見学で現場の話を聞き、異文化理解や情報収集や情報発信の技術を学んできていますが、観光業界に進む意欲があるなら、語学力、ＩＴスキルとホスピタリティ精神が必要であると説明しています。

ゼミ生には留学生も多く、アジアの旅行業界や、海外旅行体験に基づく異文化の課題、震災被災地の観光振興を研究している学生もいます。茨城県が三年連続で日本の魅力度ランキング最下位ということで、これを改善しようという意欲ある学生もおり、県とも連携してプロジェクトが組めたらと考えています。

学外授業　成田空港見学